

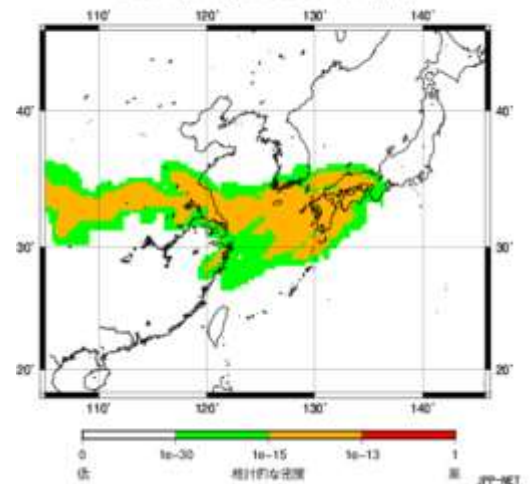
営農経済部 稲作 特別情報

管内 18 地区の定点圃場にて、分けつ、草丈などの生育状況、病虫害の発生状況などを重点に調査を行った“**水稲生育状況調査**”結果を提供しますので、ご活用ください。

先週は、前線や湿った空気の影響で突然の激しい降雨がありました。天気は回復に向かう傾向にありますが、まだ大気的不安定が予測されますので降雨には注意してください。



ウンカ類飛来予測図
2021年07月09日 21時予測



▲一般社団法人 日本植物防疫協会より

◆トビイロウンカ (令和3年7月8日現在)

JA 広島市管内では、

トビイロウンカの飛来は

未確認。

※7月5日の週は梅雨前線の影響により、大陸からの飛来が予想されています。引き続き、今後の動向に注意し、**株元を中心に観察**を行ってください。



◆イネクロカメムシについて

近年、JA広島市管内において局地的にイネクロカメムシが発生しています。

イネクロカメムシは、稲の株元の葉鞘部を吸汁加害します。

生育初期の加害では、葉に横縞状の吸害痕や葉先の縮れ症状を生じます。幼穂形成期に吸汁加害されると、出穂時期に「穂の出すくみ」や「白穂(しらぼ)」を発生します。

稲の生育や収量に大きな影響を与えますので、発見したら速やかに防除しましょう。



▲イネクロカメムシ成虫(約1cm)

◆防除対策・薬剤

稲の生育や収量に大きな影響を与えますので、「**基本防除**」、「**随時防除**」を徹底しましょう！



品名	使用時期	回数	10aあたりの 使用量	規格	当用価格 (税込)
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3回 以内	3kg	3kg	3,595円
トレボン粉剤DL			3~4kg	3kg	1,356円
トレボン乳剤	収穫21日前まで		60~150ℓ (2000倍)	100ml	1,011円



▲イネクロカメムシによる吸汁加害